

コシヒカリの1回目の穂肥は慎重な施用を

コシヒカリ出穂期は8月4～5日頃 葉色と草丈で施用量の判断を

1 コシヒカリ

◆7月11日の生育調査結果

- 草丈は長い。茎数は並。葉色は濃い状態（ほ場間で差が大きい）
- 生育は1～2日程度早い

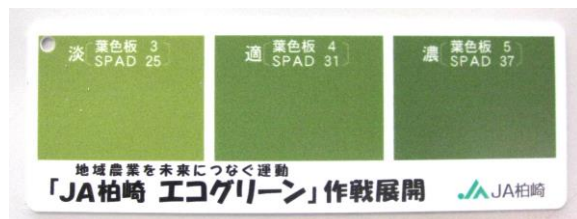
◆出穂予想

【幼穂長と出穂前日数の目安】

幼穂長 (cm)	0.4	1	4.0	10.0～12.0
出穂前日数(日)	21日	18日	13日	10日



田植日	幼穂形成期 (出穂 24 日前)	出穂予想
5月10～15日	7月11～12日	8月4～5日
5月20～25日 中山間地	7月14～15日	8月7～8日



JA 配付の葉色板で葉色を確認

◆1回目穂肥

- 今年ほ場ごとで草丈、葉色の差が大きいので、下記の目安を参考に適量を施用しましょう。
- 幼穂長を確認して施用時期を決めましょう。

		葉色(カラースケール単葉)		
		3.5以下	3.5～4.0	4.0以上
草丈 (cm)	69以下	◎	○	△
	70～75	○	○	△
	76以上	△	△	×

【表の見方】

草丈69cm以下で葉色3.5以下の時は「◎」

- ◎→散布時期を早める、または施用量を増やす
- N成分で1.0kg/10a程度散布
- △→散布時期遅らせる、もしくは量を減らす
- ×→1回目は散布しない

【穂肥時の生育の目安（指標値）】

肥料の種類	施用時期	幼穂長(cm)	草丈(cm)	葉色	
				SPAD	葉色板
有機質入り肥料 (たんぼのみのり等)	出穂 21 日前	0.4	73	33	3.6
化成肥料	出穂 18 日前	1	77	33	3.6

【出穂予想と穂肥時期・量の目安】(有機質入り肥料の場合)

田植日	出穂予想	穂肥時期 の目安	使用肥料・使用量(例)	チリ成分 (kg/10a)
5月10～15日	8月5日	7月15日 (出穂21日前)	たんぼのみのり 8～12kg/10a	1～1.4
5月20～25日 中山間地	8月8日	7月18日 (出穂21日前)	たんぼのみのり 8～12kg/10a	1～1.4

※穂肥時期は7月11日生育調査に基づく予想で、気象条件により前後することがある。

※「味好2号」など100%有機質肥料は肥効が緩やかなため葉色の発現が緩慢なので、使用する場合は出穂の25日前の施用を基本とし、葉色が落ちる前に施用する。

※5割減々栽培をしている人は、化学窒素分量に注意し施用量を決める。

◆ 2回目穂肥

○高温による白未熟粒の発生を軽減するためには、出穂期の葉色を適度に保つことが重要です。

登熟に必要な養分を確保するために、2回目の穂肥を必ず施用しましょう。

○基肥一発肥料でも、出穂期の葉色(単葉)が葉色板で3.5以下になると予想される場合は、追肥を検討しましょう。

○7月20日の生育調査の結果及び気象予報を基に2回目の穂肥についての情報を発行する予定です。

2 こしいぶき

○出穂は7月26～27日頃の見込み

○2回目穂肥の時期となっています。まだの人は速やかに施用しましょう。

(穂肥520号使用の場合、10aあたり肥料現物で10kg)

3 病虫害防除

○カメムシ類の発生注意報が発表されています。

雑草が結実しない間隔で、草刈り・除草剤散布を継続しましょう。

○葉色の濃い品種(特にこしいぶき、わたぼうし、新潟次郎)は、いもち病の発生に注意し、病斑を見つけたら直ちに防除しましょう。

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎農業協同組合
柏崎土地改良区、柏崎農業普及指導センター

お問い合わせ先

JA柏崎営農指導課 21-2095
柏崎農業普及指導センター 21-6263